

I. 学部のアドミッション・ポリシー

1. 教育学部

学校教育課程 小中一貫教育コース

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校等の教員を目指す、教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力(以下、「思考力」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)と学校現場で生きる協調性(以下、「協調性」)をもち、それらを高めるべく努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜Ⅰ	

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力	表現力	教職への意欲	協調性
選抜方法						
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に係る個別テスト	◎	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	◎	○
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
学校推薦型選抜Ⅱ 小学校主専攻 (宮崎県教員希望枠)	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ 中学校主専攻	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
総合型選抜Ⅰ 小学校主専攻 (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	口頭試問	◎	◎	◎		○
	提出書類	○	○	○	◎	

総合型選抜Ⅰ 中学校主免専攻 (音楽・美術・保健体育)	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	◎	◎	◎	◎	○
	各教科の定める 個別審査	◎	◎	◎		
	提出書類	○	○	○	◎	

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 教職実践基礎コース

教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

教職実践基礎コースでは、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能（以下、「知識・技能」）を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身に付け、それを幼児教育・小学校教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性（以下、「協調性」）を持っている人を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ (宮崎県教員希望枠)	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の小学校教員を目指す者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎		
	面接	○	○	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		◎	

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。

1. 求める学生像

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしか
な知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる
思考力・主体性(以下、「思考力・主体性」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)
と学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力(以
下、「協調性」)を身に付けるための努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 主体性	表現力	教職への 意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に 係る個別テスト	○	◎	○		
	面接	○	◎	◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	○

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻

特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。

1. 求める学生像

特別支援教育専攻では、特別支援教育に対する意欲を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）、愛情豊かに他者を思いやることのできる協調性（以下、「協調性」）を持つ人、また、学修を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）を有している人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	高等学校での学業成績が優秀で、特別支援学校教員を目指すことに意欲的な者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	特別支援教育への意欲	協調性	創意工夫 向上心
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
	提出書類	◎		○		

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎的学力を十分に身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

2. 医 学 部

医 学 科

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。

1. 求める学生像

医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力（主体性・学問への関心）を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力（知識・技能）と他者と協調・共感できる豊かな人間性（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ （地域枠）	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の地域医療に貢献する熱意がある入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜区分		知識・技能	主体性・学問への関心 協調性・思考力・表現力
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎
	面接		◎
学校推薦型選抜Ⅱ （地域枠）	共通テスト	◎	○
	面接		◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれる。

看護学科

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。

1. 求める学生像

看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力（知識・技能）を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心（学問への関心）、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力（主体性）、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜区分		知識・技能	主体性 学問への関心	協調性・思考力・ 表現力
前期日程	共通テスト	◎		
	面接		◎	○
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎		
	小論文		○	◎
	面接		◎	○

4. 入学までに身に付けてほしいこと

入試科目として課しているかどうかにかかわらず国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

また、国際化の時代にあって、海外から看護の知識を導入し、わが国の看護の成果を発信していくためにも国際語である英語を学習する必要がある。

3. 工 学 部

工 学 科

1. 求める学生像

工学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性が豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身に付け、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

- 1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人（主体性）
- 2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人（主体性）
- 3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人（協働性、表現力）
- 4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人（学問への関心、思考力）
- 5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人（知識・理解、思考力）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜Ⅰ	
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	主体性 協調性 学問への関心
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎	
	主体性評価			◎
学校推薦型選抜Ⅰ	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
総合型選抜Ⅰ	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○	
	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれる。

4. 農 学 部

農 学 科

1. 求める学生像

農学科では、農学の幅広い学問領域において基礎的知識や能力（農学ジェネラリティ）を備え、かつ食料、環境、資源及び生命に関する高度な専門性（実践型スペシャリティ）を有する人材の育成を目標としています。

そこで、農学科では次のような人材を求めています。

- 1) 高等学校で履修した幅広い教科・科目を基盤とした知識や思考力を持ち、基礎科学や自然科学に強い関心を抱いている人
- 2) 食料・生命・資源・環境に関わる課題に対する強い関心を持ち、論理的な思考及び他者との協働により、課題解決に向け地域及び国内外で貢献する意欲を持っている人
- 3) 国際社会におけるダイバーシティの理解に努め、学修を通じて倫理観、語学力や国際的視点を修養することに意欲を持っている人
- 4) 数理データサイエンス・AI やそれらを活用した先端技術に興味を持ち、それらを主体的に学ぶ意欲を持っている人

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜Ⅰ	
総合型選抜Ⅱ	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜Ⅰ	面接	○	◎	○	○
	模擬講義の受講及びレポート作成	○	◎	○	
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○		
	提出書類	○	○	◎	○

帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

応用生命化学コース

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
総合型選抜Ⅰ	面接	○	◎	◎	◎
	筆記試験	◎	◎	○	
	提出書類	○	○	◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○		
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	◎		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

生物、化学、数学、英語、情報以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。

獣医学科

1. 求める学生像

獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、獣医学科では、次のような人材を求めています。

- 1) 自然科学や社会的な課題に対する強い関心と、獣医学を学ぶことに対して明確な目的意識を持ち、修得した知識によって自然と共生する社会の実現に貢献する意欲を持っている人
- 2) 国籍や言語、文化、考え方の違いを超えて、他者と協調しながら活動するために必要な語学力や自己表現力を養う意欲を持っている人
- 3) 根拠に基づいて論理的に課題を解決するために、情報分析力、洞察力、課題探求力、思考力を養う意欲を持っている人
- 4) 数理データサイエンス・AI やそれらを活用した先端技術に興味を持ち、それを主体的に学ぶ意欲を持っている人
- 5) 学校推薦型選抜（地域枠）においては、獣医師として宮崎県に暮らす人々の生活を守り、地域の農林畜産業の発展に貢献する意欲を持っている人

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の産業動物獣医師確保を目的とした修学資金給付事業の推薦を受け、卒業後、宮崎県職員の獣医師として勤務する意思のある者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る 個別テスト等	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ （地域枠）	共通テスト	◎	○		
	面接	○	○	◎	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修する教科・科目について、偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性なども身に付けておくことを望みます。

5. 地域資源創成学部

地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。

1. 求める学生像

地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・技能）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	コミュニケーション能力	主体性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	総合問題	○	◎			
	主体性評価			◎	◎	◎
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎			
	面接			◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	◎	◎			
	面接		○	◎	◎	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○			
	小論文	◎	◎			
	面接		○	◎	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、科目を越えて地域を捉える姿勢、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。